

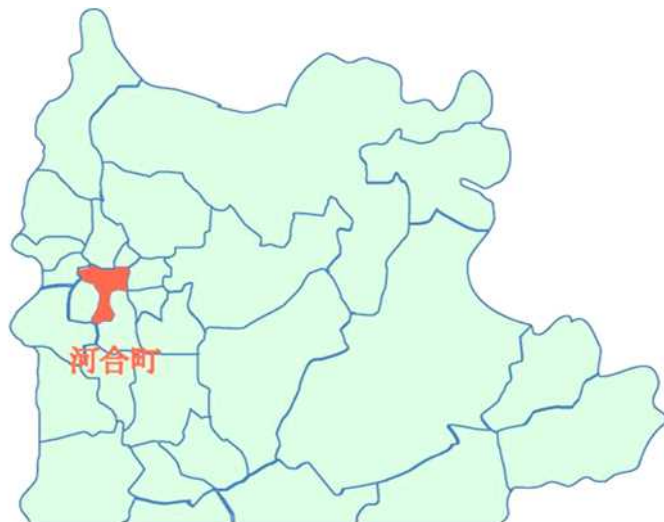
高塚台自主防災会(河合町)

項目	内容
世帯数・人口	
◇世帯数	479世帯(平成27年10月末現在)
◇人口	1,142人(平成27年10月末現在)
◇内65歳以上人口(高齢化率)	491人(43%)
地域の特徴	
◇まちの特徴	1960年代後半より開発された西大和ニュータウンの一角。大阪などへのアクセスも良い。
◇過去の災害、想定される災害	過去における大災害はない。第二次奈良県地震被害想定では最大震度7が想定されている。

設立年月日	平成23年7月14日
設立のきっかけ	隣保共同の精神に基づき、地震及びその他の災害時に被害の防止・軽減を図るため、住民間の協力が必要であるため設立
目的・キャッチフレーズ	「防災」という一つの目標に対し、住民一人ひとりが自身の距離感により活動し、全体として一つのコミュニティを醸成する。
予算規模	自治会より助成金15万円(平成27年度は防災倉庫新規設置のため30万円)
主な活動内容	
◇防災活動	AED講習会、かまどベンチ設置、炊き出し訓練、新規防災倉庫設置のための基礎工事、備蓄資機材の補充、消火栓・ホース格納箱の定期点検、自治会広報誌への啓発
◇防災と一体的にとりくんでいる活動(防犯・美化・福祉など)	年末夜間パトロール(平成27年度新規)、要支援者の把握と見守り 等
◇その他特徴的な活動	防災士資格取得への取り組み(高塚台自主防災会 現在7名取得)
主な連携先(行政・学校・企業・近隣の団体など)	河合町役場、町内各自主防災会



河合町・高塚台自主防災会



河合町：人口約18,400人

高塚台：約1,150人

世帯数約480戸

高齢化率約43%

(西大和ニュータウンの一角)



昨年12月の防災訓練のようす





1. 「高塚台自主防災会」誕生まで

高塚台は近くに河川や急傾斜地はなく、比較的安全
住民の災害に対する危機感が薄い



大地震が起きた時、住民同士の協力が必要不可欠
自主防災会設立に向けて自治会で検討



平成23年7月、30名がメンバーとして参画し、設立に至る



現在も継続して活動中！！



2. 活動内容

★地道な活動から…

「自分たちの地域は自分たち
で守る！」をモットーに、活
動しています。独居高齢者の
見守り・把握を日常的に取り
組んでいます。

消火栓格納箱の定期点検。
地域を回ることでも防犯にも貢献！





定期的にAED講習を実施

防災を学ぶ

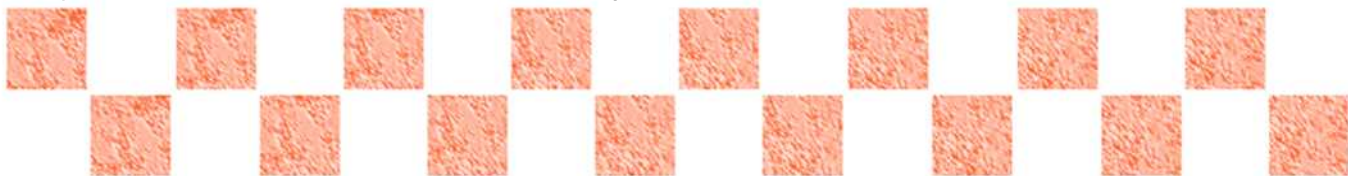
さらなる知識を深めるために、研修や講演会を開催しています



地域の大学名誉教授を招き、地震について講演会



大和郡山市防災センターへ町外研修





ハード面の防災対策も

防災倉庫やかまどベンチの工事も、
基礎工事から取り組んで、数ヶ月か
けて完成させました！

ご近所の自主防災会へ視察に行って
情報収集をしながら、完成！



【防災倉庫】基礎工事のようす



【かまどベンチ】れんがの積み上げに苦戦しました！





コミュニティを深めながら

完成したかまどベンチのお披露目
会を兼ねた防災訓練。

炊き出し訓練ではおいしい豚汁が
できました。

自然と人の輪ができ、地域の絆も
深まりました！



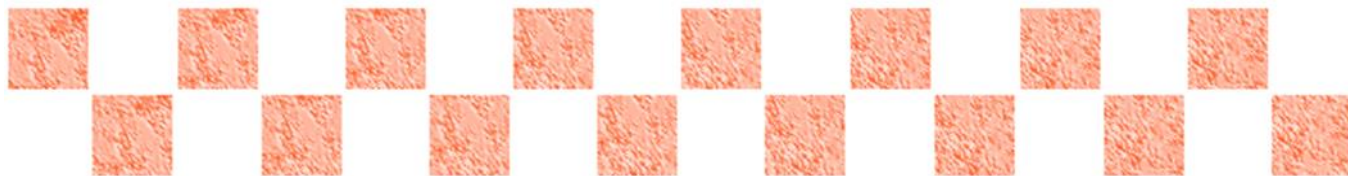


3. これから

いつ起こるかわからない災害に備えて、地道な活動をとにかく続けていくことが大切…と信念を持って取り組んでいます。

地域に少しずつ活動の輪が広がるように、これからもがんばります！！





継続は力なり！

